

第2回「新スポーツ推進計画（仮称）」策定委員会議事要旨

1 日 時

令和元年11月26日（火） 14:00～16:00

2 会 場

岐阜県議会棟3階「執行部控室」

3 出席委員

大友克之委員（委員長）、安田和夫委員、西本裕委員、増田和伯委員、岡本敏美委員、
渡邊丈展委員、堤卓雄委員、波賀野里美委員、村木和人委員
山本英弘策定部会副委員長（オブザーバー）

4 会議の形態

非公開

5 議 題

- (1) 「新スポーツ推進計画（仮称）」策定までの流れ及びスケジュールについて
- (2) 現行計画の評価・課題、項目に対する方針について
- (3) その他

6 議事要旨

- (1) 「新スポーツ推進計画（仮称）」策定までの流れ及びスケジュールについて
（事務局）
 - ・7月から毎月1回部会を開催し、現行計画の評価・課題、項目に対する方針をダイジェスト版にまとめた。
 - ・委員会での議論を基に骨子作成・構成に執りかかる。
- (2) 現行計画の評価・課題、項目に対する方針について
【競技スポーツの推進】
（委員）
 - ・「ぎふ清流国体」で確立された育成・強化システムを活用していない競技団体において競技力に差が生じてきている。
 - ・育成・強化システムの維持には継続した指導者育成と指導者の配置が重要。
 - ・競技団体への強化意識の高揚が必要。

(委員)

- ・競技力向上のためには指導者育成が重要。

(委員)

- ・競技力向上には具体的な目標（大会・数値等）が必要。
- ・競技力向上を地域の絆づくりに関連付けるなど、新たな目標設定が必要。

(委員長)

- ・競技力向上を推進するためには支援の選択と集中が必要。

(委員)

- ・様々な角度から結果を分析し、効果的な支援が必要。

(委員)

- ・スポーツ医科学ではハード面だけでなく、ソフト面（人材育成等）についても支援が必要。

(オブザーバー)

- ・スポーツ科学センターだけでなく、スポーツ系学科を持つ大学と連携し、大学の施設や人材の有効活用が必要。

(委員)

- ・大学や病院との連携等、県独自の取り組みが必要。

(委員長)

- ・障がい者スポーツの競技力向上に関する取り組みは「障がい者スポーツの推進」に含める。

【地域スポーツの推進】

(委員)

- ・社会情勢の変化で、スポーツ教室やスポーツイベントなどへの参加率が上がらない。
- ・企業におけるスポーツ指導など、スポーツを始めるきっかけづくりが必要。

(委員)

- ・運動遊びやミナモ体操を企業に出向いて実施するなど、これまでの取り組みについては県独自の活動として継続が必要。

(委員)

- ・ビジネスパーソンを対象にしたスポーツをするきっかけづくりには、企業や商店などの雇用主の協力が必要。
- ・親子でできるスポーツプログラムの提供はビジネスパーソンや子育て世代のスポーツ実施率向上につながる。

(委員長)

- ・事業所ごとにスポーツ推進委員などを配置し、就業前体操などビジネスパーソンを対象にした取り組みはできないか。
- ・企業対抗運動会や体力測定会を実施する企業が出てくるとよい。

(委員)

- ・自ら身体を動かしたくなるような仕組みが必要。
- ・競技性を持ちながら誰もが楽しむことができるボッチャのような種目を推進することが必要。
- ・企業対抗のスポーツ大会やスポーツイベントなどを行政が主導して実施してはどうか。

(委員長)

- ・健康診断で体力に関する検診を2項目程度設け、受診者が自分の体力を知る機会が必要。
- ・現行制度にスポーツ実施率向上につながる取り組みを加えることが必要。

(オブザーバー)

- ・自分の体力を知ることでスポーツをするきっかけづくりにならないか。

【地域スポーツの推進（ねんりんピック）】

(委員)

- ・継続して身体を動かせる環境づくりが必要。
- ・県体育協会や総合型地域スポーツクラブなど様々な団体との連携が必要。

(委員)

- ・「ぎふ清流国体」では競技力向上を図ることで県民に活力を与えてきた。次は「ねんりんピック岐阜2020」を機会にスポーツに親しみ人生100年時代の健康寿命を延ばすというコンセプトを打ち出してはどうか。

(委員長)

- ・食と健康も切り口として面白いのではないか。健康によい食事とリンクする企画など、食と健康を結び付けて県内キャラバンを実施してはどうか。

(委員)

- ・スポーツ栄養士を競技力向上だけでなく、あらゆるスポーツで活用してけるとよい。

【学校体育の推進】

(委員)

- ・ミナモダンス・ミナモ体操の継続実施について、指導者が一同に会する講習会が必要。

(委員)

- ・スポーツ少年団ではアクティブチャイルドプログラムを全国展開しており活用いただきたい。

(委員)

- ・特別支援学校体育連盟に設置された6競技に「ボッチャ」を取り入れてはどうか。

(体育健康課)

- ・「ボッチャ」は6競技とは別に研究部会で普及を進めているが、道具の不足やルールの把握、指導者の育成不足で普及が遅れている。
- ・「ボッチャ」の普及については特別支援学校体育連盟、障害福祉課と連携し実施に向けて指導助言を行う。

(委員)

- ・「ボッチャ」は「全国障害者スポーツ大会」正式競技となる予定のため普及を推進いただきたい。

(委員長)

- ・部活動については、今後方向性を見定めながら「岐阜県中学校運動部活動指針」「岐阜県高等学校部活動ガイドライン」に沿った活動の支援について議論が必要。

(委員)

- ・「運動好きの児童・生徒の育成」を「体育嫌いをなくす」という記載に変えてはどうか。

(委員)

- ・スポーツが苦手、嫌いな子だけを集めてスポーツをする機会を創れば体育嫌いをなくすことに繋がるのではないか。
- ・県体育協会ではスポーツが苦手な子に対して身体を動かす楽しさを体験させる取り組みを実施している。
- ・スポーツが苦手、嫌いな子を対象にした取り組みを推進いただきたい。

(委員)

- ・瑞穂市では少年団等でスポーツをしていない子どもを対象に、軽スポーツを体験させる「スポーツ探検隊」という事業を実施している。
- ・スポーツが苦手、嫌いな子をスポーツ好きにさせることが重要。

(オブザーバー)

- ・学童保育において動きの基本となるような動作を身に着けさせる取り組みができないか。

(委員長)

- ・今後部活動は地域のスポーツクラブが担う方向へ進むのではないか。

- ・地域で運動に親しむ機会を、幼稚園、保育園、小学校など低年齢期から取り組むことで、運動部活動の地域スポーツクラブへの移行がスムーズにできるのではないかな。

【障がい者スポーツの推進（障害福祉課）】

（委員）

- ・圏域ごとにスポーツ教室を展開しているが参加者が少ない。
- ・障がいの程度に関わらず誰もが参加できるスポーツの普及が必要。
- ・「県民1スポーツ」を推進いただきたい。
- ・地域や学校などの壁を取り除き、選手や指導者・施設等を共有することが必要。
- ・学校と企業の連携が必要。
- ・県障害者スポーツ協会と各競技団体が連携を密にし、障がい者スポーツの競技力向上や裾野拡大を推進することが必要。

（委員）

- ・就業後も障がいの程度に応じたスポーツを実施できる環境の整備が必要。
- ・障がい者へのスポーツ指導は特別支援学校体育連盟に協力いただいているが、障がい者スポーツを指導する人材が不足している。
- ・障がい者と健常者が一緒に活動できる場が必要。
- ・障がい者スポーツの練習場所確保が必要。
- ・県有スポーツ施設の障がい者スポーツ推進に向けた整備を進めていただいているが、その他のスポーツ施設に対しての働きかけが必要。

（委員）

- ・岐阜スーパース（バスケットボール）のホームゲーム前に車いすバスケのゲームを行っている。障がい者スポーツの周知にもなるし、選手にとっても活動を知ってもらう機会になる。他競技において同様の取り組みを推進できないかな。

【スポーツによる地域振興】

（地域スポーツ課）

- ・スポーツコミッション連絡会議では、市町村や観光課などが参集し、全国各地の先行事例の紹介等情報交換を実施。
- ・飛騨御嶽高地トレーニングエリア協議会が合宿誘致を行っている。
- ・郡上市はラグビー、サッカー、アメリカンフットボールなどの合宿誘致や大会誘致を推進している。
- ・スポーツツーリズムについて県観光協会、各市町村観光協会との連携が必要。

(委員長)

- ・スポーツ分野に限らず他業種（観光・食など）との連携を推進いただきたい。

(委員)

- ・「ぎふスポーツ振興計画」は「ぎふ清流国体」、「清流の国ぎふ推進計画」は「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」等の目標があった。「新スポーツ推進計画（仮称）」ではスポーツによる地域おこしや健康寿命の延伸等を柱として考えていただきたい。

(委員長)

- ・沖縄県では高校野球や高校バスケットボールの県大会で会場に観客が入れないほど盛り上がる。岐阜県においても高校の大会をもっと盛り上げる仕組みが必要。

(委員)

- ・スポーツマネジメント等の専門家に意見をいただけるような機会が必要。

(委員)

- ・スポーツ分野に限らず別の切り口から意見をいただくことが必要。

【スポーツ環境の整備】

(委員)

- ・県有スポーツ施設に障がい者スポーツ指導等の資格保有者を配置いただきたい。

(委員)

- ・健常者対象のスポーツ指導員が障がい者スポーツを指導できる県独自の資格および資格取得プログラムの構築が必要。

(3) その他

(事務局)

- ・スポーツ実態調査について説明。内容について助言いただきたい。

(以上)